平成24年度　長岡市地域コミュニティ事業補助金申請団体一覧

№	団　　体　　名	代　表　者　名	事　　業　　名	補助対象経費	補助金申請額
1	ふるさと中条の歩みを伝える会	会長　　石田　元治	ふるさと中条の歩み伝承事業	288,000	230,000
2	義民与茂七顕彰会	会長　　武田　良治	義民大竹与茂七没後300年祭	338,000	270,000

平成24年度　長岡市地域コミュニティ事業補助金申請概要

団体名等	事業名、事業内容及びスケジュール	補助対象経費及び内容等	地域活性化の波及性
【団体名】 ふるさと中条の歩みを伝える会 【構成員数】 45人	【事業名】 ふるさと中条の歩み伝承事業 【目的】 中条地区で生活する人たちが、ふるさとの歩みを知る場、振り返る場をつくり、また、この機にあらたな発見をしてもらうことで、ふるさとを大切にする気持ちを育み、自慢できる「ふるさと中条」の地域活性化につなげ、交流の輪を広げていきたい。 【事業内容】 ･資料等の整理･修復等 中条地区に伝わる貴重な資料を、地域の人たちに見てもらえるよう、また、大切な財産として後世に残せるよう整理、修復等を行う。 ･看板の作成等 歴史や由来を記した看板を作成し、地域の人たちが気軽にふるさとの歩みに触れられるよう環境を整え、看板設置場所を含めた、地域住民対象の地域内歴史探訪を行う。 ･広報誌の作成 本会が取り組んだ内容や、中条の歴史を掲載した広報誌を作成し、中条地区各戸に配布。本会の活動を知ってもらうとともに、歴史に触れ、興味を持ってもらえる素材として活用したい。 【事業実施までのスケジュール】 7月　整理、修復する資料等の検討、着手 8月～　看板作成の検討開始（レイアウト等） 10月　看板設置、看板設置場所を含めた地域内歴史探訪（地域住民対象） 2月～　広報誌発行に向けた原稿作成 3月　広報誌発行 理事会、総会 その他　必要に応じて適宜理事会、打合せ会議等を開催	【補助対象経費】 288,000円 【内容】 ･看板制作費：150,000円 ･広報誌等印刷費：30,000円 ･資料表装費、修復費：100,000円 ･消耗品費：8,000円	ふるさとの歴史を、地域の方に知ってもらう環境をつくることで、新しい発見もあり、今まで知らなかったふるさとを知ることもできる。 また、ふるさとの歴史に興味、関心を持ってもらうきっかけにもつながり、世代を超えてふるさとについて語り合い、コミュニティが育まれる地域づくりにつながることも期待できる。

平成24年度　長岡市地域コミュニティ事業補助金申請概要

団体名等	事業名、事業内容及びスケジュール	補助対象経費及び内容等	地域活性化の波及性
【団体名】 義民与茂七顕彰会 【構成員数】 107人	【事業名】 義民大竹与茂七没後300年祭 【目的】 大竹与茂七の遺徳を偲び、その業績をより一層地域住民や子どもたちに知ってもらい、地域全体で守り伝えていくために、没後300年の節目を契機に、記念講演の開催やパンフレットなど資料を作成し、さらなるＰＲと伝承につなげていきたい。 【事業内容】 ･記念講演の開催 　大竹与茂七の生涯と遺徳、中之島地域の川の氾濫との闘いの歴史をテーマに記念講演を行い、講演会には広く関係者からも参加してもらえるよう案内する。 ･子供を対象とした「伝承の夕べ」の開催 　これからの地域を支えていく子供たちに自分たちのまちの先人である大竹与茂七の業績について語り、そういうまちに住んでいることに自信を持ってもらえるように学習会を開く。 ･記念誌の発刊 　記念誌は「記念講演」や「伝承の夕べ」に使用したり、さらに今後小学校の図書室に置いてもらい、子供たちがいつでも手に取って大竹与茂七の遺徳に触れられるようにする。 【事業実施までのスケジュール】 5月　実行委員会会議（1回目） 6月　実行委員会会議（2回目） 7月　実行委員会会議（3回目） 　　記念誌、パンフレットの完成 7月21日　伝承の夕べ 7月22日　記念講演 9月以降各小学校の総合学習の時間をいただき、3、4年生に大竹与茂七の偉業について語り、中之島全体に知ってもらうように活動する。 1ヶ月に1回程町内の子供たちに大竹与茂七の事を話す機会を設ける予定。	【補助事業対象経費】 338,000 【内容】 ･記念誌製本（500部作成）：200,000円 ･パンフレット制作：24,000円 　（400部作成） ･報償費（記念講演講師）：20,000円 ･交通費：5,000円 ･ポスター制作費：30,000円 ･消耗品費：30,000円 ･事務通信費：29,000円	没後３００年の節目を契機に、今後地域の人たちと子供たちが中心となって、交流を図りながら大竹与茂七をあたらめて振り返り、その業績を再認識することで世代を超えた交流の場として地域の活性化が期待できる。